

2020年9月30日

# 新本店ビルの竣工および本店営業部の移転について

千葉銀行(頭取 佐久間 英利)は、2020年9月30日(水)、新本店ビル(千葉市中央区)が完成し、11月24日(火)に本店営業部を移転することをお知らせします。

新本店ビルの名称は「ちばぎん本店ビル」とし、大規模災害を想定したBCP(事業継続体制)の強化を図るとともに、地域のお客さまとの交流拠点としてご利用いただける施設・設備も設けています。

なお、本店営業部は11月20日(金)まで現本店ビル内で通常営業します。この他、本部機能や建物内の施設は本年11月以降に順次移転・開業していく計画であり、現本店ビルの解体や外構工事を終えてのグランドオープンは2023年3月を予定しています。

新本店ビルの概要は下記のとおりです。

当行は「ちばぎん本店ビル」を地域社会との共生のシンボルと位置付けており、地域のお客さまに長く愛される場になることを願っております。

記

#### 1. 新本店ビルの基本コンセプト

#### (1) 地域社会との共生

地域の皆さまに当行や金融のことをより身近に知っていただくための施設として、JR千葉駅前の「ちばぎん金融資料室」を移設します。同じフロアには地元企業やスタートアップ企業、起業を目指す方の共創コミュニティの場として活用できるコワーキングスペースを併設しているほか、演奏会等も開催できる大ホールはグランドオープン後に一般貸出も行っていく予定です。

また、大規模災害発生時には帰宅困難者の受入れや電源の貸出ができる設備が備わっており、地域の防災拠点としても活用いただけます。

#### (2) 働き方改革による生産性向上

執務フロアにはグループ毎のフリーアドレスを導入します。部室間のコミュニケーションを活性化させるため、執務フロアの中央には上下階を自由に行き来できる内階段を設置しました。部署を横断するプロジェクトや個人のスタイルに合わせて執務を行えるフリーエリアも設けています。

この他、キッズスペースを設けるとともに、オムツ交換台や授乳室も設置しました。

## (3) BCPの強化

大規模地震対策として地盤改良を行い、基礎免震構造を採用したほか、業務継続のための 非常用発電機やコージェネレーションシステムを導入し電源の多重化を図っています。

また、非常時に緊急対策本部として使用できる研修室を新設しました。

# (4) 環境への配慮

省エネルギー化を促進するため、建築環境総合性能評価システム「CASBEE」Sランク相当の機能性を有したつくりになっています。

太陽光発電や井戸水・地熱などの自然エネルギーを積極的に活用し、外気の影響を抑えるダブルスキン構造等を採用することで省エネルギーと快適性を両立させました。

#### 2. 建物概要

名称	ちばぎん本店ビル
所 在 地	千葉市中央区千葉港1番2号
延床面積	約 48,000 m <sup>2</sup> (駐車場棟含む)
規模構造	地上 16 階 塔屋 2 階
建物用途	本部機能・本店営業部・研修施設・ホール 等
設 計	株式会社日建設計
施工	清水・大成・新日本・旭共同企業体

## 3. 移転 開業計画

2020年11月24日	本店営業部
2020年12月中	本部各部室の移転
2023年3月(予定)	グランドオープン

以上

# 【外観】



【内観】



オフィスエントランス



本店営業部ロビー



大ホール



ワークプレイス